



▲英語の問題の解き方について、揖斐高校の先生から指導を受ける生徒

7月25日(木)から4日間、揖斐高等学校でサマースクールが行われ、町内の中学3年生、のべ311名が参加しました。

サマースクールは、揖斐高校と町内の中学校の教師による、夏限定の特別授業です。過去の岐阜新聞テストを基にして作った問題に挑戦し、解き方や今後の学習の進め方の指導を受けました。

中体連の夏の大会が終わった生徒にとって、来春の受験に向けて、ギアチェンジする良い機会となっていました。どの生徒も真剣に、授業を受けていました。

サマースクール開講 ～中高連携行事～



▲和装コースの授業を体験する生徒



▲食物コースの授業を体験する生徒

7月25日(木)から2日間、揖斐高等学校で体験学習が行われ、町内の中学2年生、のべ153名が参加しました。

中学生は、普通科、生活環境科の先生方が準備したコースの中から、選択して授業を体験しました。また、授業後には、部活動にも体験入部しました。高校の知的好奇心をくすぐる授業や先輩の堂々とした態度などから、どの生徒も自分の進路について、考えを深めていました。

体験学習が行われました！ ～中高連携行事～



▲会長表彰を受賞した野村宏一さん

8月1日(木)、羽島市で第59回岐阜県身体障害者相談員研究大会が開催され、揖斐川町身体障害者相談員の野村宏一さん(福島)が岐阜県身体障害者相談員連絡協議会会長表彰を受賞しました。

野村さんは、相談員として、身体に障がいがある方に対し、補装具や日常生活用具の給付制度の案内や身近な問題についての相談を行うなど、8年にわたる功績が認められ、今回の受賞となりました。

揖斐川町身体障害者相談員は、野村さんの他に、身体障がい者(児)の福祉増進に理解と熱意のある方が10人委嘱されています。

今後も、町福祉事業の増進のためにご尽力をお願いします。

受賞、おめでとうございます。

岐阜県身体障害者相談員優秀者 表彰を受賞しました

8月2日(金)、羽島市「第41回少年の主張岐阜県大会」わたしの主張の主張岐阜県大会「わたしの主張2019」が開催され、西濃地区代表として出場し、岐阜県知事賞を受賞された西濃学園中学校3年生の池田翠さんと、優秀賞を受賞された揖斐川中学校3年生の今村瑚々実さんが、9月3日(火)揖斐川町役場に受賞の報告に訪れました。

2人は大会において、ボランティアを通して見えてきた世界に対する思いやかけがえのない命の尊さについて堂々と発表されました。

富田町長は、「受賞おめでとう。地域や自分の周りの人に目を向け、じっくりと考え、自分の思いを主張したことが今回の受賞につながったと思います。これからもそれぞれの思いを大切に活躍されることを期待しています。」と受賞を称えました。

池田さんは岐阜県を代表として、録音・作文審査による中部・近畿ブロック大会代表選考に進みます。



▲岐阜県知事賞を受賞した池田さん(中央)と優秀賞を受賞した今村さん(右から3人目)

少年の主張岐阜県大会で受賞 わたしの主張2019

揖斐郡消防組合救助隊員が 全国大会に出場

8月5日(月)、揖斐川町役場公室で、揖斐郡消防組合救助隊員が8月25日(日)に岡山市で行われる第48回全国消防救助技術大会へ出場することを富田町長に報告しました。

救助隊員は、7月25日(木)に行われた第48回消防救助技術東海地区指導会において、はしご登はんの部とほふく救出の部とともに優秀賞となり、全国大会への出場権を獲得しました。

野原消防長より報告を受けた富田町長は、「今回の消防救助技術東海指導会での好成績は、日頃から救助隊員が地域の安全安心のために訓練してきた成果だと思えます。これからも地域住民が安心して暮らせるよう、救助技術を高めてほしい。」と挨拶しました。



▲全国大会に出場する揖斐郡消防組合救助隊員

揖斐厚生病院院長塚本達夫さんが 表彰されました

8月6日(火)、揖斐川町役場町長室で、揖斐厚生病院院長塚本達夫さんが岐阜県公衆衛生協議会会長表彰の受賞を富田町長に報告しました。

塚本さんは、揖斐厚生病院院長として、長年にわたり、地域医療や公衆衛生の向上に尽力された功績が認められ、今回の表彰となりました。

今後も、地域住民が安心して暮らせるよう地域医療の向上に多大なるご尽力をお願いします。

受賞、おめでとうございます。



▲富田町長に受賞報告をする塚本達夫さん

中学生議会開会 生徒らが町政に提言

8月9日(金)、揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われ、町内4校の代表19人が議員になって町政について提言を行いました。

第1部は、「未来に向けてのまちづくり」として、10年後の揖斐川町について、豊かな自然や伝統を生かした若者が集うまちづくりに対する思いを4つのグループが発表しました。

第2部は、「揖斐川町をより発展させるための町への質問・提言」として、中学生ならではの活発な提言が行われ、町政への関心の高さが見られました。

答弁をした富田町長は、「町の今と未来を思う心をうれしく頼もしく思います。今日の提言を踏まえて、さらに『自然・健康のまちいびがわ』のまちづくりを推進していきたい」と話し、議長を務めた揖斐川中学校3年の金崎孝浩さんは議会をふり返り、「10年後も住み続けたい町になるよう、これからもみんなでもみ合ひで話し合いを続けていきたい」と話しました。



▲未来に向けてのまちづくりについて発表する中学生議員

揖斐川伝統芸能フェスティバル

8月18日(日)、地域交流センターはなもでも揖斐川伝統芸能フェスティバルが開催されました。

このイベントは、町の伝統文化に理解を深め、継承につなげるために毎年開催されています。

第1部「歌舞伎」では、平成30年度岐阜県芸術文化奨励を受賞された「いび祭り子ども歌舞伎保存会」による「寿式三番叟菅原伝授手習鑑 吉田社頭車曳の場」、「いび祭り子ども歌舞伎塾」による「鏡山田錦絵」、乙原歌舞伎が披露されました。

第2部「太鼓踊り」では、今年5月に日本遺産に認定された谷汲山華厳寺を中心に活動されている谷汲踊りと三倉の太鼓踊りが披露されました。



▲5団体による披露の様子

水道施設を美しく 清掃奉仕作業

8月22日(木)、町内の水道業者で組織されている揖斐川町水道組合が、地域貢献活動の一環として毎年実施している水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

この日は水道組合から14人のボランティアが参加し、早朝からお昼まで、揖斐地区と小島地区に設置されている上水道配水池とその周辺の草刈りを行いました。

皆さんの協力によって施設周辺は、美しくなりました。

清掃奉仕作業に参加された皆さんありがとうございました。



▲清掃奉仕作業の様子

小学生県外派遣事業

8月23日(金)から27日(火)まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪問しました。

研修先では、地元の小学校との交流の他、芽室町ではホームステイ先での農業体験やゲートボール体験などを、宿毛市では中央市場で漁業についての学習や郷土料理についての体験などを行いました。

研修を終えた児童は、それぞれの土地の文化や産業に触れるなど、普段の生活では味わうことができない貴重な体験をしたことで、自信に満ち溢れた表情をしていました。



▲芽室町表敬訪問の様子



▲宿毛市表敬訪問の様子

災害から命を守る 揖斐川町総合防災訓練

9月1日(日)、南海トラフ地震を想定した揖斐川町総合防災訓練が、小島小学校を主会場として行われました。

訓練は、静岡県駿河湾から紀伊半島南東沖を震源とする地震が発生したことを想定したもので、町全体で約9千人が地域の集会場等に避難するなど訓練に参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や、女性防火クラブ・小島小学校少年消防クラブによる初期消火訓練、日本赤十字奉仕団による炊き出し、小島防災チームによる防災クッキング、災害救助犬による人命救助訓練、災害救援ボランティアによる負傷者搬送訓練など、さまざまな訓練が行われ、地域が一体となって災害時の体制や連携を確認し、防災意識を高めました。



▲初期消火訓練の様子

旭日単光章を受章されました

谷汲神原地区在住の森本好之さん^{もりもと よしゆき}に、富田町長より旭日単光章の伝達が行われました。

森本さんは、昭和60年9月から3期12年の永きにわたり、旧谷汲村議会議員として在職され、平成5年9月から1年間は副議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。また、村民の連帯意識を高めるため、村中央部に多目的ホール(谷汲サンサンホール)の建設や情報社会に応じたマルチメディア館の建設、同村の将来を見据えた観光振興の推進、福祉施設の整備などにも多大な貢献をされ、これらの功績が認められ、今回の受章となりました。受章おめでとうございます。



▲伝達を受けた森本好之さん